

「大地の再生」から考える防災と 伝統土木による環境デザイン

大阪公立大学
中百舌鳥キャンパス
C1棟 多目的ホール

2024年
12月5日(木)
17:00-19:30

参加費 無料
定員 120名
(要申込・先着順)
申込 

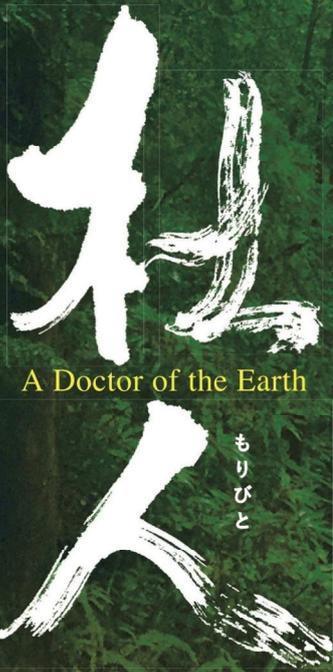
17:00-18:50

第一部 映画上映会

『杜人(もりびと)』
～環境再生医 矢野智徳の挑戦～

環境再生医

矢野智徳の挑戦



A Doctor of the Earth

もりびと

出演/矢野智徳 監督・撮影・編集/前田せつ子

制作スーパーバイザー/綾瀬あや
音楽/山口洋 (HEATWAVE)・水城ゆう
エンディングテーマ/G.Yoko 「わたしをつつむもの」
制作・配給/リンカランフィルムズ

“私たち人間は、利便性の高い暮らしを求めて、森を支える自然地形を壊し、生きものの拠り所であった大地を傷めてきました。人工的に地形を変えることは、水脈と土中の空気の流れを変え、植物層を変え、やがては周囲の気候さえ変えてしまいます。特に水脈は大地の要であり、分断されてしまうと様々な環境破壊を起こします。”
〔「大地の再生」HPより一部抜粋〕

昨今の度重なる土砂災害や土石流を生み出す原因に、森林生態系の荒廃によって水源の涵養機能が低下していることが指摘されています。その生態系の再生を伝統土木の技法から取り組もうとする「大地の再生」はスコープ一本で誰でもできる環境デザインです。造園技師・矢野智徳が長年にわたる観察と実践から見出した環境再生手法を、ドキュメンタリー映画「杜人」から学び、我々にできる防災と環境再生について考えてみたいと思います。

19:00-19:30

第二部 座談会

「大地の再生」から考える防災と
伝統土木による環境デザイン

ゲスト 西尾和隆
(大地の再生士)

登壇者 生田英輔
(都市科学・防災研究センター)

上田萌子
(農学研究科)

加我宏之
(農学研究科)

ファシリテーター ハナムラチカヒロ
(現代システム科学研究科)

クラウドファンディングで
初日に目標額を達成。
最終達成率495%の
話題作

なぜ、
植物が枯れていくのか。

なぜ、
生きものが

減っていくのか。

なぜ、

豪雨災害は

年々激しさを増すのか。

すべてに共通する原因

それは

「大地の呼吸」

にあった。

各界から推薦の声！

人間が分断してしまった自然の動的平衡を回復しようとする人々の、地道な、しかし希望に満ちた物語。

ポストコロナの生命哲学がここにある。

福岡伸一 (生物学者 / 『生物と無生物のあいだ』著者)

「自分にしかわからない」という孤独を一心に背負って

大地と向き合い続ける矢野さんの後ろ姿に、ついに心を奪われる。

そして大地が呼吸を始め、元気になっていく動植物を見つめる彼の嬉しそうな目の奥に「真実」を見る。

鶴田真由 (女優)

杜を破壊するのは人、杜を再生できるのも人、貴方の選択は？

平井一夫

(ソニーグループシニアアドバイザー / 一般社団法人プロジェクト希望代表理事)

小さな移植ゴテで土に語りかけると、それに応えて風や水が大きく動く。生きものである私たち人間の「地球での生き方」はこれだ

とわかり、これから自信を持って生きていけそうです。

中村桂子 (生命誌研究者)

全国で多発する水害を、彼は自分の痛みのように感じている。

玄侑宗久 (慧日山福聚寺住職 / 作家)

矢野智徳さんに初めて会ったときの
衝撃を忘れない。

「虫たちは葉っぱを食べて空気の通りをよくしてくれている」

「草は根こそぎ刈るから反発していつそう暴れる」

「大地も人間と同じように呼吸している」

植物や虫、大地、生きとし生けるもの声を代弁するような言葉は

ノウシカのようなだった。風のように枝を払い、穴を掘る様子はイノシ

シのよう。こんなふう自然と関わればどれほど豊かに生きられる

だろう。いや、人間であることの罪悪感が少しは軽くなるかもしれない

それから4年後。技術も知識も経験も機材もない中で、彼を追い

ける旅は始まった。何処へ行っても、傷んだ自然とコンクリートがあ

った。そして、汗だくで草を刈り、泥だらけになって土を掘り、笑顔で帰

っていく人々がいた。2018年7月。西日本で大変な災害が起きた

彼が以前から警告していたことが現実となったのだ。被災現場に駆け

つけた矢野さんは言った。

「土砂崩れは大地の深呼吸。息を塞がれた自然の最後の抵抗」

かつての人々が大切にしていた言葉、「杜(もり)」とは「この場所を

傷めず 穢さず 大事に使わせてください」と人が森の神に誓って紐

を張った場。
自然と共に生きるすべを、人間という動物の遺伝子はきつとまだ憶



矢野智徳(やのともりの) 1956年福岡県北九州市生まれ。父親の徳助氏が私財を投じて始めた花木植物園「四季の丘」で10人兄弟とともに植物の世話をして育つ。東京都立大学理学部地理学科・自然地理を専攻。在学中に日本一周を敢行。1984年矢野園芸を始める。1995年の阪神淡路大震災を機に環境改善の新たな手法に取り組み、「大地の再生講座」を各地で開催。

出演/矢野智徳・玄侑宗久(福聚寺住職・作家)・石田智子(福聚寺寺庭・アーティスト)・堀 信行(地理学者/理学博士)・「杜の学校」スタッフ・「大地の再生」全国支部・「大地の再生講座」参加者の皆さんほか
監督・撮影・編集/前田せつ子 制作スーパーバイザー/綿織あや 音楽/山口洋・水城ゆう ナレーション/光野トミ・林裕羽 題字/奈良裕之 ドローン撮影/石田伸二(i Daps) アニメーション制作/清水有紗・糸井みさ
製作協力/「杜人」を応援する会・「杜人」プロジェクト 整音/石川雄三 色調補正/村石 誠 広告デザイン/山下リサ 制作・配給/リンカンフィルムズ 2022年/日本/カラー/16:9/101分

息をしている限り、まだ間に合う。奇跡のドキュメンタリー

Lingkar FILMS



映画上映会

『杜人(もりびと)』

～環境再生医 矢野智徳の挑戦～

2024年 12月5日(木)

17:00-18:50

大阪公立大学

中百舌鳥キャンパス

C1棟多目的ホール